



大砂土中だより

はっ らっ
澗 刺 と

さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.4 平成30年 7月 1日号

反省とさらなる成長を

校長 小林 正美

梅雨の蒸暑さの中、1学期最後の月となりました。3年生修学旅行、学校総合体育大会、8組校外学習、体育祭とたて続けに大きな行事が行われました。生徒たちはこれらの貴重な体験を通して、仲間と協力して解決する力、同じ目標に向かって力を合わせ、ひとつになることの大切さ、相手を思いやる心等多くのことを学んだのではないかと思います。

とりわけ、6月23日(土)の体育祭には、今年も多数の皆様にご来校頂きまして、誠に有り難うございます。また、当日は学年種目をはじめ各競技において、どの生徒も最後まで真剣に取り組んだことに、皆様が惜しめない拍手を送ってくださったこと、感謝の念に耐えません。

また、5月に実施しました3年生修学旅行では、生徒たちの意識の高さに大変感心させられました。整然とした集合、リーダーを中心としたまとまりのある動き、積極的な見学態度など、公共の場でのマナーを十分に踏まえた行動には、とても誇らしいものを感じました。3年生は、入学以来、授業や集団行動の場面で、互いに認め合いながらも、自らを厳しく律しつつ行動するという経験を積み重ねてきました。こうした経験やご家庭でのご指導が、京都・奈良の修学旅行においても、中学生として期待される力を発揮することにつながったものと思います。

さて、残り約3週間で1学期が終了します。そこで、保護者の皆様にも、ご家庭で生徒の皆さんと一緒に今学期の生活を振り返り、1学期のまとめをしていただきたいと思います。始業式と入学式に私がお話した4つの目標を1学期のまとめのポイントとしていただければと思います。1つ目は「かしこさ」、意欲的に学び、深く考える生徒になって欲しいということです。人から言われてやるのではなく、何事にも興味や関心を持って積極的に取り組んだでしょうか。特に、授業、部活動、委員会活動にしっかり取り組めたでしょうか。2つ目は「ただしさ」、正しい判断により、主体的に行動する生徒になって欲しいということです。みんなのために進んで働く心、良いこと、悪い事が判断できる心が育ってきているでしょうか。3つ目は「たくましさ」、病気や誘惑に負けない、健康で逞しい体と心もち、粘り強く進んで鍛える生徒になって欲しいということです。病気に負けない体、何事にも自ら進んで行動する力、逞しい心が育ったでしょうか。4つ目は「ゆたかさ」、やさしく、温かい心をもつ生徒、広い視野からさまざまな良さを発見する生徒になって欲しいということです。人を思いやれる優しい心、自分のためでなく他人のためにも進んで働く心が育ったでしょうか。私たち教職員は、日々の生活に意欲をもって取り組む生徒に、思いやりのある心豊かな生徒に、心身健康で主体的に行動する生徒、まさに「澗刺と」した生徒に育ってくれるよう、これからも一層の努力をして参る所存です。

もうすぐ夏休みです。何かと忙しい中学生ですが、せっかくの長い休みです。夏休みを有意義に過ごし、一段と成長していくために、ご家庭で子どもたちにできるだけ多く、本物の自然や芸術・文化に触れさせ、そして家族の絆を強めるような実体験を積み重ねていただければと願っています。